

授業科目	管理栄養士演習 I (A クラス)				実務家教員担当科目	○					
単位	2.	履修	選択	開講年次	4	開講時期	通年				
担当教員	天本 理恵										
授業概要	<p>管理栄養士養成科目のうち基礎系科目を統合的に理解し、国家資格取得に必要な十分な知識を養うために次のような授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理栄養士国家試験教科の各分野の出題傾向とポイントを解説する。 2. 国家試験の出題問題を中心に、各教科ごとの問題をテストし、解答と解説を行う。 3. 授業はオムニバス形式とする。 										
授業形態	講義・演習			授業方法							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>管理栄養士国家試験教科『社会・環境と健康』『人体の構造と機能及び疾病の成り立ち』『食べ物と健康』『基礎栄養学』『応用栄養学』の分野の出題傾向と重要点を説明できる (DP1-2, DP2-1)。</p> <p>標準的なレベルでは、管理栄養士国家試験教科『社会・環境と健康』『人体の構造と機能及び疾病の成り立ち』『食べ物と健康』『基礎栄養学』『応用栄養学』の分野の出題傾向と重要点を説明でき、国家試験において、『60%』の正解率を出せる能力を有する (DP1-2, DP2-1)。</p>										
理想的レベル	<p>理想的レベルでは、管理栄養士国家試験教科『社会・環境と健康』『人体の構造と機能及び疾病の成り立ち』『食べ物と健康』『基礎栄養学』『応用栄養学』の分野の出題傾向と重要点を説明でき、国家試験において、『80%』の正解率を出せる能力を有する (DP1-2, DP2-1)。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合 (数値)				備考						
試験	100%										
小テスト											
レポート											
発表 (口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NT32704J
学習課題 (予習・復習)										1 回の学習目安 (時間)	
予習：講義内容の予習をし、理解する。										1	
復習：演習で解いた問題を整理し、理解する。											
授業計画											
第 1 回	【前半のオリエンテーション、応用栄養学 1】 管理栄養士国家試験における午前中の部の出題傾向とポイントを解説する。										

	過去の国家試験等の「応用栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：天本理恵
第 2 回	【社会・環境と健康：公衆衛生学 1】 国家試験過去問等の「公衆衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：藤和太
第 3 回	【社会・環境と健康：公衆衛生学 2】 国家試験過去問等の「公衆衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：藤和太
第 4 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：解剖生理学 1】 国家試験過去問等の「解剖生理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：岡部明仁
第 5 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：解剖生理学 2】 国家試験過去問等の「解剖生理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：岡部明仁
第 6 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：生化学 1】 国家試験過去問等の「生化学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：尾上均
第 7 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：臨床医学 1】 過去の国家試験等の「臨床医学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：高崎智子
第 8 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：臨床医学 2】 過去の国家試験等の「臨床医学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：高崎智子
第 9 回	【食べ物と健康：食品学 1】 国家試験過去問等の「食品学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：船越淳子
第 10 回	【食べ物と健康：食品学 2】 国家試験過去問等の「食品学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：船越淳子
第 11 回	【食べ物と健康：食品衛生学・食品加工学 1】 国家試験過去問等の「食品衛生学」「食品加工学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：木村宏和
第 12 回	【食べ物と健康：食品衛生学・食品加工学 2】 国家試験過去問等の「食品衛生学」「食品加工学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：木村宏和
第 13 回	【食べ物と健康：調理学 1】 国家試験過去問等の「調理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。

	担当：山田志麻
第 14 回	【基礎栄養学 1】 国家試験過去問等の「基礎栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：南里宏樹
第 15 回	【基礎栄養学 2】 国家試験過去問等の「基礎栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：南里宏樹
第 16 回	【後半のオリエンテーション、応用栄養学 2】 後期における学習の留意点等を解説する。 過去の国家試験等の「応用栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：天本理恵
第 17 回	【社会・環境と健康：公衆衛生学 3】 国家試験過去問等の「公衆衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：藤和太
第 18 回	【社会・環境と健康：公衆衛生学 4】 国家試験過去問等の「公衆衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：藤和太
第 19 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：解剖生理学 3】 国家試験過去問等の「解剖生理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：岡部明仁
第 20 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：解剖生理学 4】 国家試験過去問等の「解剖生理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：岡部明仁
第 21 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：生化学 2】 国家試験過去問等の「生化学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：尾上均
第 22 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：臨床医学 3】 過去の国家試験等の「臨床医学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：高崎智子
第 23 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：臨床医学 4】 過去の国家試験等の「臨床医学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：高崎智子
第 24 回	【食べ物と健康：食品学 3】 国家試験過去問等の「食品学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：船越淳子
第 25 回	【食べ物と健康：食品学 4】 国家試験過去問等の「食品学」分野の出題傾向とポイントを解説する。

	担当：船越淳子
第 26 回	【食べ物と健康：食品衛生学・食品加工学 3】 国家試験過去問等の「食品衛生学」「食品加工学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：木村宏和
第 27 回	【食べ物と健康：食品衛生学・食品加工学 4】 国家試験過去問等の「食品衛生学」「食品加工学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：木村宏和
第 28 回	【食べ物と健康：調理学 2】 国家試験過去問等の「調理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：山田志麻
第 29 回	【基礎栄養学 3】 国家試験過去問等の「基礎栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：南里宏樹
第 30 回	【基礎栄養学 4】 国家試験過去問等の「基礎栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：南里宏樹
テキスト	1. 各科目の教科書 2. 「レビューブック 管理栄養士」(株式会社メディックメディア)
参考図書・教材/データベース・雑誌等の紹介	1. 図書館に配架している各出版社の国家試験問題集、傾向と対策、全科の要点等 ・「管理栄養士国家試験過去問解説集」(花伝社) ・「管理栄養士国家試験受験必修過去問集」(女子栄養大学出版部) 2. 必要に応じてプリント等配付する。
課題に対するフィードバックの方法	授業の習熟度や課題(予習・復習)の評価のために、中間試験と定期試験を実施する。 前学期は中間試験を実施する。中間試験に合格することを後学期の定期試験の受験要件とする。
学生へのメッセージ・コメント	『公衆衛生学』『栄養疫学』『健康管理概論』『解剖生理学』『応用生理学』『生化学 I・II』『病理基礎医学』『疾病診断治療学 I・II』『基礎栄養学 I・II』『食品衛生学』『加工食品機能論』『調理学』『食品学 I・II』『応用栄養学 I・II』『運動・環境と栄養』を基にして、授業内容を組んでいるので、あらかじめ、それらの科目で学修した内容を復習しておく必要がある。 1. 関連する国家試験の過去問題を学習しておく必要がある。

2. 雑誌、インターネット等で法改正に関する情報や最新の科学情報を検索し、学習することが勧められる。
 3. 30 コマという限られた本科目の授業時間数では、管理栄養士の国家試験に対応することは困難であるので、担当教員全員が年間を通じて担当分野の補講を行う。補講の出席は義務ではないものの、本科目の中間試験および定期試験、ひいては、国家試験に合格するためには必須と考えて出席して頂きたい。
- なお、試験の詳細については授業時に説明する。